

# 南坂8号墳現地説明会資料

2004(平成16年)12月18日(土)  
岡山市教育委員会

## ◎ 南坂8号墳(古墳時代前期)

岡山市下足守字陰地の足守平野に面した尾根上に位置する。全長約27m、後方部長約15m、幅14m以上、高さ約2m、前方部長約12m、幅約9m、高さ約0.8mの、前方部を北西に向ける前方後方墳である。

後方部中央には、長さ3.7m幅約1.2m高さ約1.1mのの竪穴式石室がある。床面には円礫が敷かれ、石室北西端部から南側のくびれ部へと伸びる排水溝を伴っている。石室内部からは管玉が1点検出されている。

## ◎土器棺(古墳時代前期前半)

墳丘南側のくびれ部付近に位置し、墳丘築造後に埋葬されたと考えられる。最大胴径26cmの壺で、頸部を打ち欠いており、高坏を蓋に用いたと考えられる。

## ◎埴輪棺(5世紀末～6世紀初頭)

後方部南東側墳端から、5mほど東に位置する。1.3m×0.5m程の楕円形の土壇の中に、3個体以上の円筒埴輪を組み合わせて埋葬していたと考えられる。

## ◎石蓋土壇1(6世紀後半)

南側くびれ部の墳端付近に位置する。長1.2m幅0.4mの土壇上に4石の蓋石がおかれ、須恵器の坏蓋と坏身が副葬されていた。

## ◎石蓋土壇2(6世紀中葉)

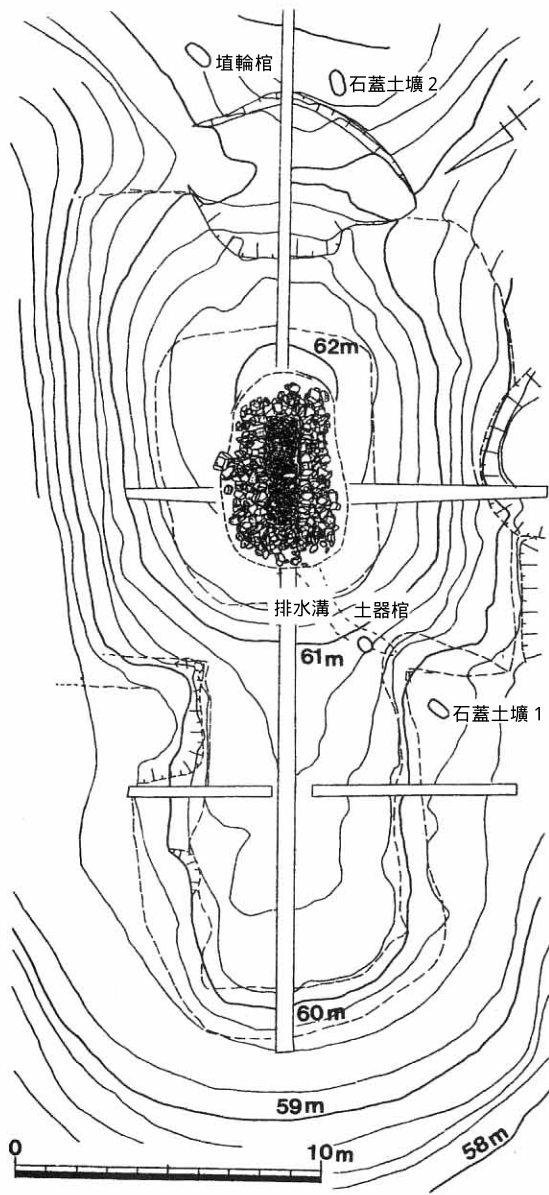
後方部南東側墳端から、5mほど東に位置する。埴輪棺より南西へ5m程離れている。1m×0.6m程の土壇上に2石が置かれ、須恵器の坏蓋2と坏身1が副葬されていた。木根の影響により石蓋土壇1に比べ残存状況が悪い。

## ◎第2主体石室(6世紀末～7世紀初頭)

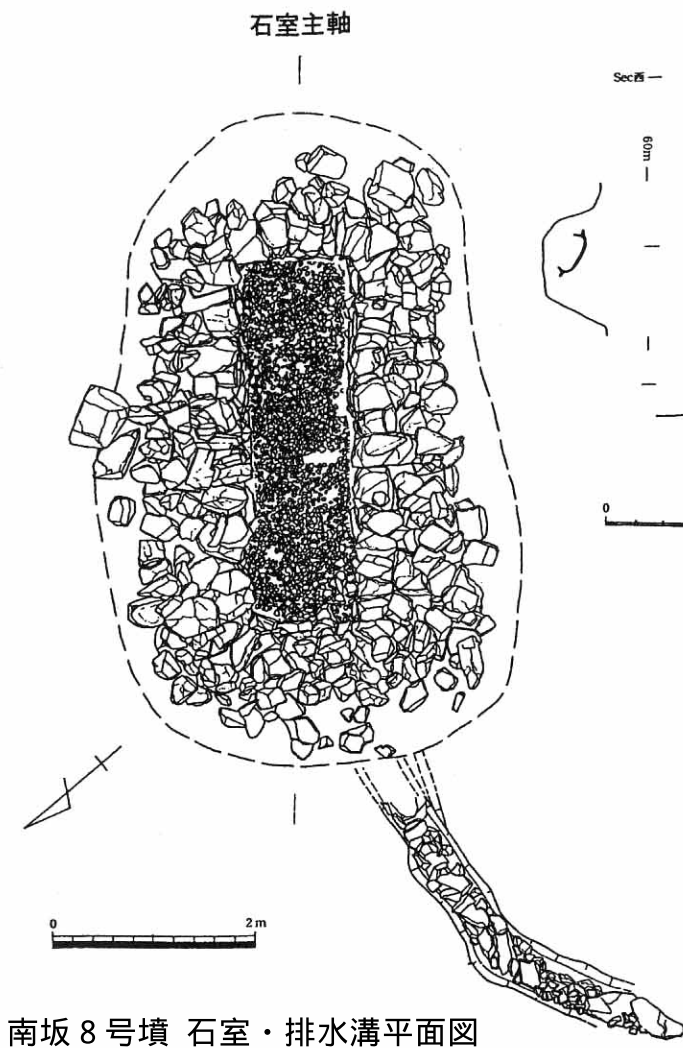
南坂8号墳の竪穴式石室の南半部に、石室を再利用して築かれている。内部からは枕に転用された須恵器の坏身と坏蓋および、鉄鏃が出土している。



南坂8号墳位置图

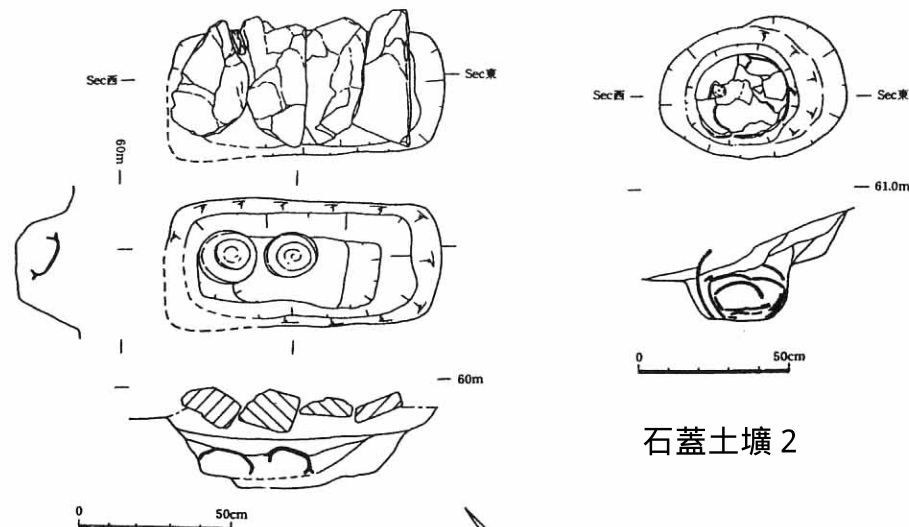
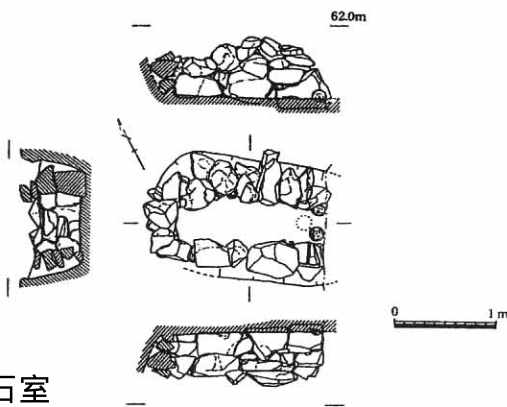


南坂 8 号墳 墳丘測量圖



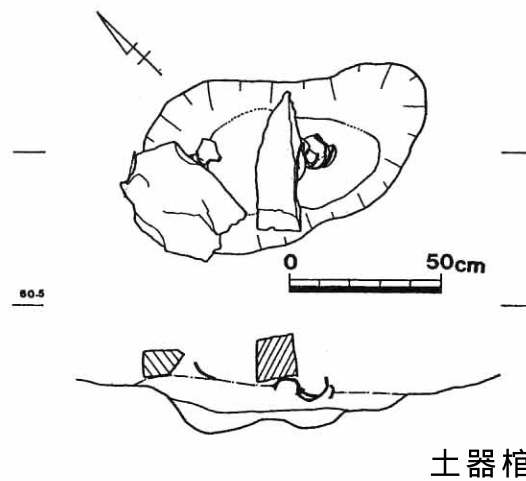
南坂 8 号墳 石室・排水溝平面圖

第 2 主体石室

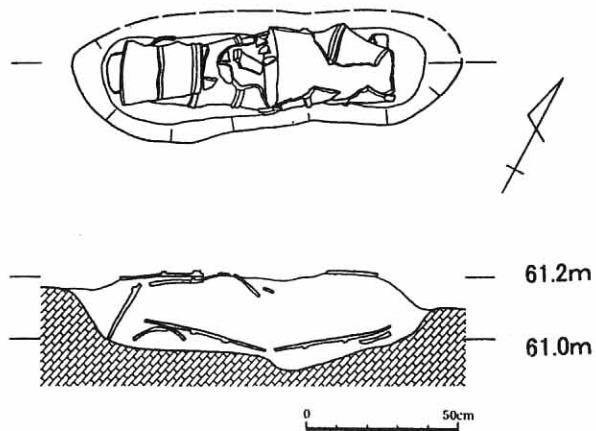


石蓋土壙 1

石蓋土壙 2



土器棺



墳輪棺